

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

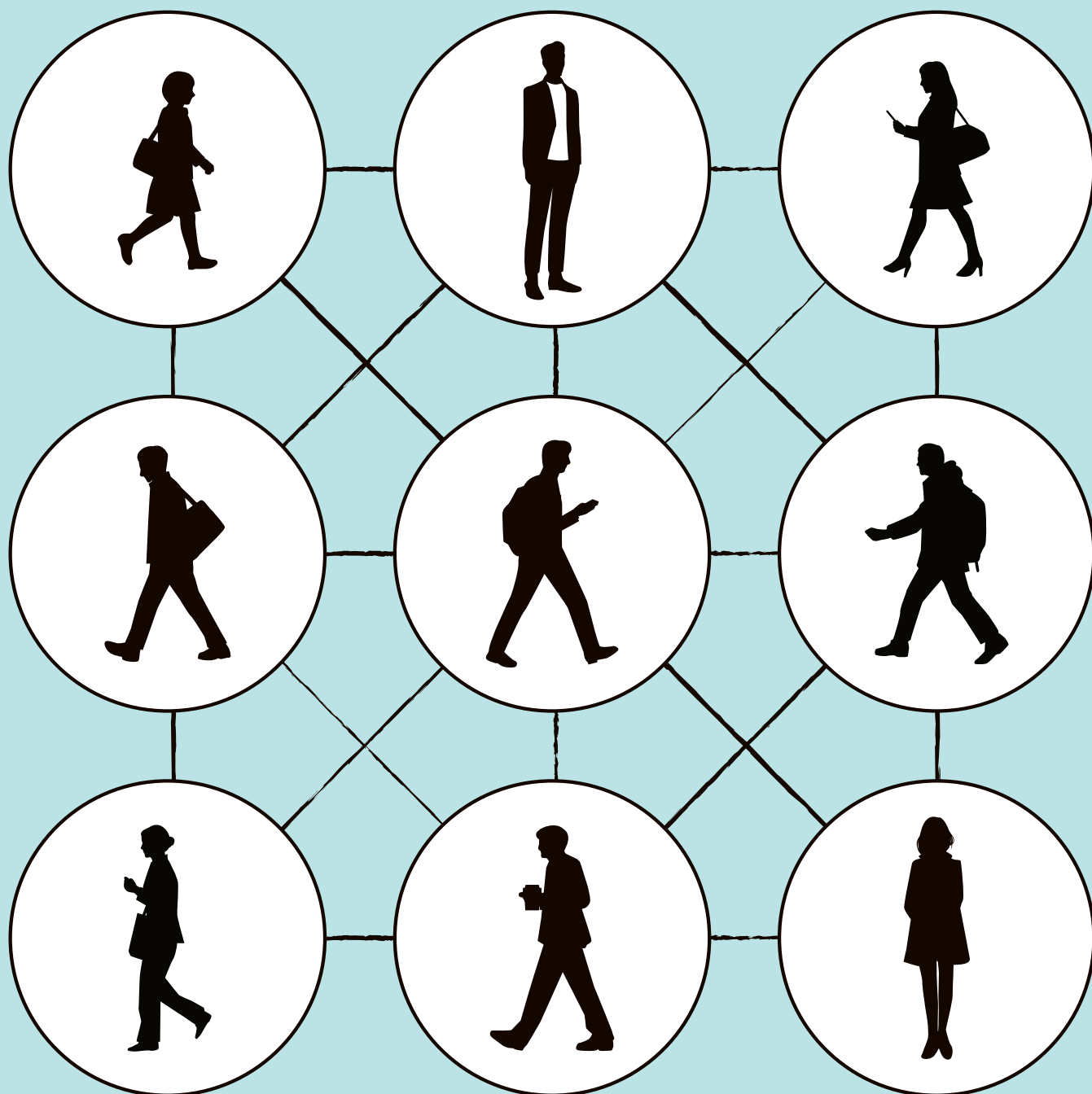
READER

2017
冬号

通巻：223号
発行：2017.12.25

特集

「働く」をつなぐ場



三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2017
冬号

通巻：223号
発行：2017.12.25

今号の内容

特集

「働く」をつなぐ場

コーヒー寄付金 NPO グランプリ

NPO 法人 shining

NPO 法人ワークスタイル・デザイン

SDGsの話 ～世界を変えるための17の目標～

テーマ：飢餓をゼロに

NPOで働くみなさんへ

IT ツール紹介 / 三重県からのお知らせ / 会計と労務 / 書籍の紹介

募集のご案内

インフォメーション

助成金情報、NPO 法人認証、編集後記



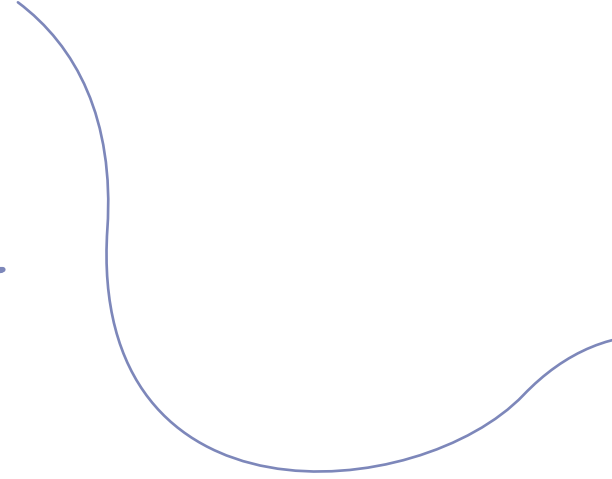
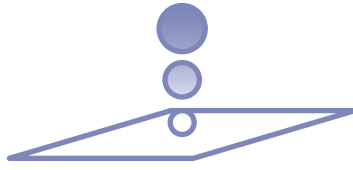
2018 2020

2030

2050

2100

NPO がつくる雇用につなぐ場



NPO がつくる雇用の場

NPO 法人 サルシカ



(サルシカが) 雇用の場になる +
個人事業主を支援・プロデュース
を行う

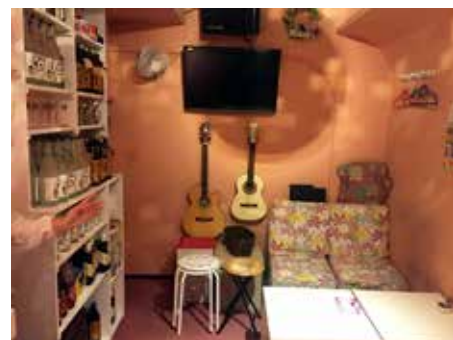
私たち「サルシカ」のミッションは、活動拠点である津市の美里地区を活性化することです。今回取材していただいている店舗事業は、いくつかあるビジョンの1つにすぎません。サルシカでは、団体の活動の中で農産物を作っています。それらを産直市場で販売していますが、買い取り額が低く、生産者にとってなかなか厳しい現状です。

そこで農産物の消費の出口を自分たちで作ろうと考え、「おぼんざいバル すみす (以下、すみす)」を立ち上げました。幸いなことに、すみすは好評でしたが、それでも農産物の消費量は少なく、多店舗展開しなければ勝負にならないということで、現在では4店舗を運営しています。

安心な灯り「ランタン通り」

店は、津市の大門商店街にあります。ここで多店舗展開することで商店街の活性化にもつながります。

①イベントを開催する⇒②ランタン通りのPRになる⇒③サルシカの活動を知ってもらう・仲間が増える。そういった目的のために、イベントを手段として開催しています。県民性かどうかはわかりませんが、今の三重県の若い人はセミナーや勉強会にたくさん参加しているのに、独立することや現場に出てアウトプットすることが少なく、保守的な感じがします。商店街を上手く使うことで自身の「ステップアップの場」になるということもPRしているので、独立したいとくずぶつている人に思いが届いてほしいです。



NPO 法人という強み

「サルシカ」では、きちんと雇用してきちんと給料を払うというポリシーがあります。普通の会社と同じでマネジメントもシビアです。スタッフ全員が集まる会議では売上報告するなど、それぞれの店舗がお互いを刺激し合います。基本的に1店舗1人でお店をまわしているので、スタッフの責任は重いと思います。“NPO 法人だから”と特別な意識はしていません。特別意識はありませんが強みとしては、たくさんのボランティアの方がリフォームを手伝ってくれました。一緒に作業することでお店を作る時点から関わってくれて、開店したあともファンになって通ってもらえることは嬉しいです。多くの人を巻き込み、その期待を裏切れないということでスタッフのモチベーションも高まっていると思っています。

「あたりまえ」を徹底的に

店舗経営で大事にしていることは、掃除・水回りを清潔に保つことです。汚い店には入りたくありませんし、そういったあたりまえのことをしっかり行うことが、店の評判に反映されると思います。あと、毎日2回はWEB更新をしています。会社帰りに何気なく見た SNS に美味しそうな料理の写真が流れているのを見て、もしかしたら寄ってくれるかもしれない。小さなことなので、タイミングが絶対にあうわけではありませんが、そういった細やかな発信を大事にしています。



NPO 法人サルシカ

URL : <http://www.salsica.com/>



企業と学生のつながる場

一般社団法人
わくわく
スイッチ

わくわくスイッチのはじまり

わくわくスイッチは、2015年に設立された、学生と企業をつなぎ、両者の成長をサポートする仕組みづくりを行う団体です。代表の中村憲和さんは、約10年間大阪・新潟・仙台・岐阜・広島を渡り歩き、各地でインターンシップ事業の立ち上げに携わってきました。その経験を活かし、「三重県で自分を成長させたい。<0から1>をつくりたい」と考え、今まで三重県になかった実践型インターンシップを中心とする取り組みをスタートさせました。



学生と中小企業をマッチングする 課題解決型インターンシップ

主に、学生と中小企業をマッチングする多様なインターンシップ事業を展開しています。インターンシッププログラムを通じて学生が地域に入っていき流れをつくり、中小企業と若者をマッチングしています。課題解決型インターンシップでは、学生が企業経営に携わることで企業の新陳代謝を図り、組織を活性化することもねらいとしています。

一般社団法人わくわくスイッチ
URL : <http://waku1.com/>

地域理解型インターンシップ

企業の“業種・職種”を知りたい！
実際に仕事を体験してみたい！

1日～1週間の職業体験 「シゴトラベル in 三重」

1day (取材編)

1日で3社の業種を体験。三重県の主要な産業「ものづくり・食・生活サポート」の企業をまわり、4～5名の取材チームが社長や社員に密着取材！

1 week (体験編)

5日間で会社の中にある職種を体感できるプログラム。特定の職種を実践的に体験できる。

課題解決型インターンシップ

本気で自分を成長させたい！

広報ブランディング インターンシップ

中小企業の問題に、学生が挑むプログラム。学生が企業の事業に携わる。

新規事業や販路開拓のマーケティングを企画したり、イベントのチラシなど広報ツールの作成などを体験できる。

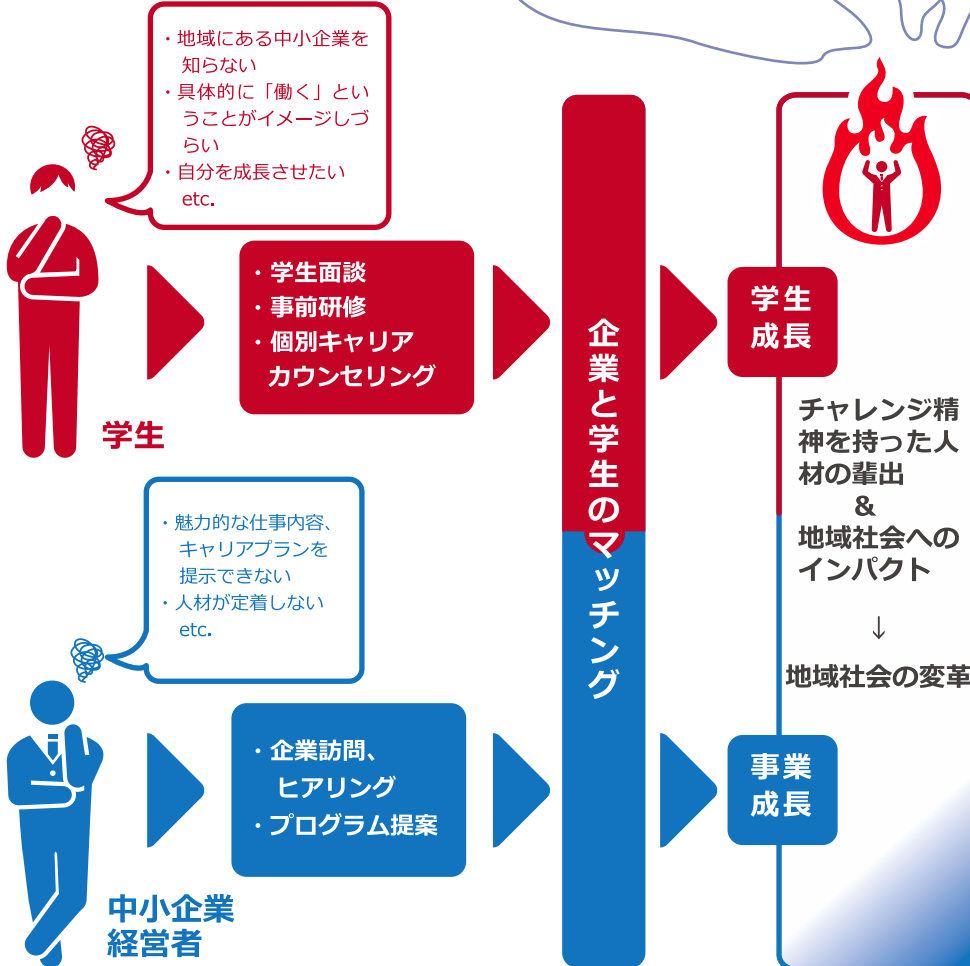
イノベータープログラム

約6ヵ月間、中小企業経営者に付き添い、事業の立ち上げや商品開発などに取り組むことができる。

インターンシップの経験が経営者と学生、双方にとってのターニングポイントになる

今の時代、自分中心で「自己責任」という言葉が流行ったり、自分の夢を描こう、とかベクトルが自分に向いている流れもあって「自分が自分」という人が多いように思います。でも、「自分」のことばかりで、じゃあ目の前に落ちているごみは誰が拾うんだって思うんですね。むしろ地域の課題はこれからどんどん加速して、増えてくると思います。目の前のごみを拾える人を増やしていかないと、という思いがあります。

学生は最初に、「自分の成長のため」といってインターンシップに参加したり、企業も「売上をあげたい」とか「事業を拡大させたい」という思いで学生を受け入れたりしますが、インターンシッププログラムを通して、自分本位から他者視点、社会視点へと視点が変化していきます。そうやって、次の時代を担っていく若者を育てることが僕たちのミッションです。そして、その仕組みを各地域に埋め込んでいくことこそが僕たちの役割だと考えています。



NPO がつなぐ就職の場

トレーニングカフェ Sprout (スプラウト)

就労に向けて一歩踏み出すカフェ

現在、「障がいがある」「人と接することが苦手」など、さまざまな理由で働きたくても働けずにいる若者や、就職したけどうまくいかなかった、精神的に参ってしまったという人がたくさんいます。NPO 法人市民社会研究所は、そういう若者のために北勢地域若者サポートステーション（以下サポステ）を開設し、就職に向けた相談を行っています。それだけでは十分ではありません。「すぐに就職するには、準備期間が足りない…」「もう一歩踏み出す自信がない…」という若者のために、少しおしゃれなトレーニング場を作りたいと思い、2017年9月にカフェ「Sprout」をオープンしました。



地域や事業者への理解を広げる場

Sprout は近鉄四日市駅前のアーケード街にあります。真向かいのビルに、同じNPO のサポステ、生活困窮者就労訓練事業所「伊勢おやき本舗」、障がいがある人の就労移行支援事業所「ユニバーサル就労センター」があり、これらと一体となって運営しています（主要メニューは焼きたておやきと日替わりスープ）。まちなかにあるので、メッセージ性のあるカフェとして、通りすがりの方に、働きづらさを抱えた若者の現状を知ってもらいたいと思います。一人一人に合った受け入れ先を増やしていけるよう、当事者の若者たちの発表会などを行い、地域の事業所等にも働きかけています。

力をチャージし、 新しい自分を芽吹く場所

おおむね3ヶ月を一区切りにトレーニング生を受け入れます。最初の1月は、その方のありのままを受け入れます。失敗することも1つの経験としながら、2ヶ月目から少しずつスタッフがアドバイスをし、必要なトレーニングを積んでいきます。3ヶ月目には、就労に対する意欲を高めることができるよう、話し合う場を持ちます。これまで15人の方を受け入れ、4人が就職し、2人が新しい道に踏み出しました。「今の自分が好きである」というアンケートの答えは、スタート時で平均2.7でしたが、3ヶ月後は3.5に上昇しています。この成果は大変嬉しいことです。新しい自分を芽吹かせるためには何が効果的なのか、継続的な検証も行っていきたいと考えています。



相談

北勢地域
若者就業
サポート
ステーション

就労準備 トレーニング

Sprout

職業体験 訓練

地域の事業所など

一般就労

ハローワーク

営業時間：火曜日～土曜日

10:00～17:00

場所：三重県四日市市諏訪栄町2-9

電話：090-5878-1975

E-mail：ssk21ww@yahoo.co.jp

本部：NPO 法人市民社会研究所

市民活動を
応援する

コーヒー ☕ 寄付金 NPO グランプリ 2016年度

NPO法人 shining

挑戦的事業  準グランプリ



鈴鹿子ども食堂りんごの家の様子



鈴鹿子ども食堂りんごの家の様子



クリスマスケーキ作り

子ども食堂で昭和の“良き近所づきあい”を

子育て中のお母さんたちが輝けるようにとの想いで、同じ志を持った仲間と当法人を設立しました。近年、兄弟姉妹が少ない家庭が増え、子どもたちのコミュニケーション不足を感じることや、また貧困と呼ばれる家庭の子どもへの孤食が増える一方、心の貧困も問題となってきました。これは、子どもだけの問題ではなく高齢者の孤食も深刻な問題になっています。

その問題解決策として、2016年8月21日（日）から月1回「鈴鹿子ども食堂りんごの家」を始めました。子どもから高齢者まで年齢、性別、国籍に関係なく関わり合うことで、災害時にも助け合える顔の見える近所づきあいの関係をつくり、将来のコミュニケーション能力UPに繋げていけると考えています。また悩みがあれば相談しあえる環境づくりや、家庭で食の大切さを考えるきっかけとなってもらえるように、子どもと一緒に子ども食堂の食事を準備しています。

「鈴鹿子ども食堂りんごの家」は昭和の良き近所づきあいを目指しています。

※近隣の企業、個人の方々からご支援ご協力をいただいています。

※ボランティアさん大歓迎です。子どもたちに関わりたい皆様のボランティアお待ちしております。

成果

2017年12月で第17回目の開催となります。子どもたちがお料理や裁縫にチャレンジしたり、母親同士で育児相談をしたりと相談し合える環境が整ってきています。

課題・展望

“第3のおうち”となるよう継続していきます。子どもの経済的貧困だけでなく、心の貧困にもアプローチしていきます。ママが笑える環境が子どもの未来に繋がると考えています。課題はやはり資金面です。

NPO法人
shining

〒513-0848
鈴鹿市平田本町1丁目6-27

☎ 059-378-7868 / 090-6647-1011

✉ nposhiningjapan@gmail.com

🌐 <http://www.nposhining.com/>

代表者 岡田 聖子 さん

団体設立 2014年6月

会員数 12名



コーヒー寄付金 について

「コーヒー寄付金」とは、施設利用者の皆さまから「県内の市民活動を応援する」という趣旨をご理解いただき、コーヒーなどを提供することによりご寄付をいただいております。いただいた寄付金の中から必要経費を差し引いた額を県内の市民活動団体に寄付し、活動資金の一部としてお使いいただくことが本事業の趣旨となります。2016年度は2年分の寄付金を積み立てた金額を「コーヒー寄付金」として提供、応募いただいた市民活動団体さまへ2016年12月23日（金・祝）開催の贈呈式にて活動支援金をお渡しいたしました。今回は、2016年度「コーヒー寄付金」Bコース（挑戦的的事业）で準グランプリを受賞された「特定非営利活動法人shining」と「特定非営利活動法人ワークスタイル・デザイン」をご紹介します。

NPO法人 ワークスタイル・デザイン

挑戦的的事业  準グランプリ



キャリア形成講座の様子



情報誌ぱれっと



乳がん経験者のママの声をカタチにした「ケア帽子」

情報発信や商品開発に女性の経験を活かす

● 誰もが いつからでも 夢を描けるまちを目指して

子育て中や病気の治療中であっても、それぞれの経験や得意なことが活かすことのできる働き方がもっと当たり前になり、どんなライフステージからでも、夢を描ける社会になることを目指して活動しています。

● 女性のキャリアを地域につなげ、地域に活かす活動

女性の働き方・生き方をテーマにした情報誌「ぱれっと」（季刊/1万部）を編集・発行しています。アンケート調査やリポーターには、子育て中のボランティアスタッフが活躍。編集ミーティングにも積極的に参加し、企画内容などはお母さんたちの生の声を基に考えられています。このほかにも、広報誌やパンフレットの編集、商品開発（ケア帽子）、イベント運営（ピンクリボンイベント）、セミナー企画（キャリア形成講座）などに、女性の視点で取り組んでいます。女性の経験やキャリアを、企業や行政などにつなげることで、地域の活カアップに貢献したいと考えています。

● 地域に働きやすい環境を広げる活動

2017年から四日市大学と連携し、学生が地域の企業取材する企画「学生潜入レポ！人にやさしいみえの企業」を開始。誰もが働きやすい環境づくりの取り組みが、地域全体に広がることを期待しています。

成果

キャリア形成の講座に参加した女性から「再就職をした」、「教室や講師を始めた」などの報告がありました。講座の開催が、社会復帰やステップアップのきっかけづくりとなっています。

課題・展望

がん治療中の子育て女性が開発した「ケア帽子」をより多くの人に知ってもらい、販路を広げることで、就労支援を継続していく体制を整えたいと考えています。

2. 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

の話



世界の飢餓人口は過去10年間で1億6700万人減少しています。全体的に著しい改善が見られるものの、いくつかの地域では飢餓人口はまだまだ多い状況にあります。サハラ以南のアフリカでは、およそ4人に1人が慢性的な飢餓に陥っており、アジアもまた5億1200万人という、多数の飢餓人口を抱えています。

国連 WFP は飢餓はまったくもって解決可能な問題で、世界にはすべての人に十分な食糧があるがその食糧は飢餓が起こっている地域に十分届いていない、としています。飢餓の解決は衛生や教育、就労など様々な課題解決の大切な土台となります。

世界から飢餓をなくすためには食料の安定確保や農業の推進等の課題解決をするだけでなく、企業や個人、行政や政府などさまざまな人たちが協力し合って包括的に課題解決に向けて取り組んでいくことが必要不可欠です。

飢餓とは無関係だと感じる日本ですが食糧自給率は減少傾向にあり、先進国の中でも最低の水準にあります。そして、さまざまな事情で健康で十分な食事を取ることが出来ない人は日本にも多く暮らしています。しかし一方で日本国内のさまざまな場所で毎日多くの食品が廃棄されています。

廃棄されている食品の中には賞味期限が近い・包装が傷ついているなど『食べられるのに捨てられてしまう』食品も多くあります。食べたいのに食べられない人がいるのに、そこに届かず、『食べられるのに捨てられてしまう』食品がある。この食品たちはもっと有効に活用されるべきではないでしょうか。

今回は三重県で食糧の配布や情報発信など、食糧の課題について様々な活動を行っている「フードバンク多文化みえ」を紹介します。

日本の食品ロスの大きさ

国民1人1日当たり食品ロス量は、おおよそ茶碗1杯分のご飯の量に相当。



国連 WFP による世界全体の食料援助量
(2015年)

約 320 万トン

国民1人1日当たり食品ロス量

約 134 g

(茶碗約1杯のご飯の量に相当)

資料：WFP、総務省人口推計（平成26年度）

フードバンク多文化みえ

団体の設立について

「フードバンク多文化みえ」の活動は 2009 年に始まりました。リーマンショック後、日々の食事に困る外国人を目の当たりにしていたところ、東海エリアでフードバンク活動を展開している「NPO 法人セカンドハーベスト名古屋」から食品提供がありました。そして NPO 法人セカンドハーベスト名古屋からの物資を三重県内で配布する活動を始めました。

※「フードバンク」とは…「食料銀行」を意味する社会福祉活動。安全に食べられるが包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈をうけ、必要としている施設や団体、個人に無償で提供する活動です。

団体の活動について

現在「フードバンク多文化みえ」では、NPO 法人セカンドハーベスト名古屋や県内のスーパーマーケットなどから提供された食品を、おもに登録団体に配布しています。とくに優先すべき支援先は「子ども」に携わる団体です。そこから、今日、明日食べるものがない家庭・個人に食品が届けられます。

昨年度は、多文化共生支援団体や、子ども食堂、子どもサポート団体や教会、その他施設などに配布し、昨年度の配布延べ件数は 313 件です。主な配布物はお米、スープ、ラーメン、非常食、バナナ、クッキー、チョコレート、ビスケット、缶詰、レトルトカレー、パン、弁当など。お米は栄養価も高く、人気です。登録団体がフェイスブックでお米の募集を呼びかけたところ、古米を譲っていただくことができ支援先にとっても喜んでもらいました。現状では、食べるものがなく、川の鯉を食べていた外国人研修生や 1 週間小麦粉と水で生活していた若者もいます。怠けているわけではないけれど、職につけず、収入がないため食べるものがない、ライフラインも止まってしまうという状況があります。インターネットや電話、メール、口コミで問合せがあり、そこから支援先の情報を集め、状況に応じて必要な食品を仕分けし、配布しています。

実際に家庭に入っていないと、各家庭の困りごとは把握できません。困難な立場にある人は情報の受信、発信がうまくできないため、私たちはさまざまな団体と連携しながら、このような困窮した状況を議員に訴える活動もしています。



団体情報

フードバンク多文化みえ

TEL : 080-4217-3967

Mail : info@fb-tabunkamie.com

代表者 : 中村博俊

団体設立 : 2009 年

会員数 : 5 名とボランティアスタッフ

2 飢餓を ゼロに



三重の数字

43%

三重県の食料自給率は 43% です。食料問題の解決のためには、食品ロスを減らし、食料自給力を向上させることも大切です。

出典：平成 26 年度農林水産省
都道府県別食料自給率（カロリーベース）

NEXT ISSUE

3 すべての人に 健康と福祉を



次号では SDGs が掲げる 17 のテーマから「3. すべての人に健康と福祉を」を特集します。

NPOで働くみなさんへ

ITが苦手だけど、少し頑張ってみる NPOの共感と信頼を得るITツール

中間支援の仕事をしていると多くのNPOの方から「パソコンが苦手」「ITが苦手」というお話をお聞きます。いつももったいないなあと思うのが、「苦手」=「できない・やらない」という選択を取られる方が多いこと。皆様が目指すより良い地域や社会を実現するためには「苦手なりに必要な範囲でできることをやっていく」という選択も必要ですね。ちょっとだけ頑張ってみて、団体の共感や信頼のアップを目指しましょう。

ワードやエクセルの ショートカットキーを覚えて作業効率アップ!

今回の特集は、Windowsのパソコンを使っている人限定になります。ワードやエクセルで資料を作っているとき、右クリックからメニューを開いて、行いたい操作を選択しますよね。それで何か支障があるわけではないですが、右クリックのメニューなどと同じ効果を持つ「ショートカットキー」を覚えておくと、作業効率がグンツ!とあがります。この機会に良く使う「ショートカットキー」を覚えて、資料作りのスピードを上げましょう。

Ctrl + C … コピー	Ctrl + Z … 1つ戻る	Ctrl + Shift + C … 書式設定のみをコピー
Ctrl + X … 切り取り	Ctrl + Y … 1つ進む	
Ctrl + V … 貼り付け	Ctrl + S … 上書き保存	Ctrl + Shift + V … 書式設定のみを貼り付け
Ctrl + F … 文字の検索	Ctrl + P … 印刷	

三重県からのお知らせ

聴講募集 「100通りのミライ」若者座談会 (企業・NPO協創事業)

コカ・コーラ ボトラーズジャパングループ コカ・コーライーストジャパン株式会社とNPO法人Mブリッジの主催事業(協力:三重県)「U-29プレスト会議 ミエミライ」では、18～29歳の若者が集まり、三重の魅力向上や課題解決についてブレインストーミング(発案会議)でアイデアを出し合ってきました。そのアイデアを振り返り、地域づくりや担い手について考える座談会を実施します。聴講は年齢・所属を問わずどなたでもご参加いただけますので、産官学民の多様な皆様のご来場をお待ちしております。

日時	平成30年2月10日(土) 13時30分～16時30分
場所	みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700番地 アスト津3階)
内容	若者たちの価値観から生まれた「100通り以上の幸せな未来」について振り返りながら、地域づくりや担い手について考えていきます。
聴講のお申込み	以下のアドレスにお申込みください。なお、事前予約なしの当日参加も可能です。 【アドレス】yoneyama@ma.mctv.ne.jp 【件名】2/10座談会・聴講席希望 【本文】名前、年齢、所属(あれば) ※内容、参加人数等、詳細は別途ご案内します。

三重県では、企業のノンプロフィット活動(非営利の社会貢献など)を応援していきます。企業やNPO、社会福祉協議会など多様な立場の方々が連携・協創し合えるダイバーシティ社会を目指します。

お問い合わせ 三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課NPO班

TEL 059-222-5981

Mail seiknpo@pref.mie.jp

FAX 059-222-5984

HP http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/

NPO法人の税務について

NPO法人は特定非営利(公益)活動を行うことで営利を目的としない団体ですが、必ずしも法人税法上の非収益事業(非課税)にあたるわけではありません。非営利事業のほか収益事業を行う場合には、営利企業と同じく課税となり、納税をすることになります。また、収益事業を行う場合には年1000万円以上で消費税も計算し、納付することになります。雇用する場合には、個人負担の源泉所得税、住民税の徴収も行い、納付することが必要です。また定期的に行うこととして、決算時に行う確定申告があります。法人税は決算日後2カ月以内に申告、納付を行うこととなっています。ただし特例として総会後に延長することも可能です。消費税も決算後2カ月以内が申告、納付期限となりますが、延長は認められていません。消費税では、確定申告のほか、一定の要件に該当する場合に中間申告、納付を行うこととなります。期限を守らないと加算税、延滞税が課せられますので注意が必要です。給料を受け取る個人の負担の源泉徴収税は、毎月の給料から控除された額を月単位で事業者側が納付します。納期の特例を受け

設立時・該当時等税務上必要な手続き

- ① 法人設立届 (税務署、県税事務所、市町税務窓口)
- ② 青色申告の承認申請書 (管轄税務署)
- ③ 消費税課税事業者届出書 (管轄税務署)
- ④ 消費税簡易課税制度選択届出書 (年5,000万円以下 管轄税務署)
- ⑤ 給与支払事務所の開設届出書 (管轄税務署) など

ている場合(常時10人未満)は、年2回(7月10日、1月10日)にまとめて税務署に納付することができます。年末調整にて1年間の税額を確定し、過不足額を申告し、調整を行うことも必要です。講師料等報酬での源泉徴収税もその都度申告、納付し、一定額以上は年間まとめて税務申告が必要となります。同じく個人負担の住民税は、前年度の所得により計算された額を毎月個人の給料から徴収することが義務付け(特別徴収)られており、毎月市、町村毎に納付します。そのほかにマイナンバー制度が運用され、税務申告に必要となるとともに個人情報管理が求められるます。税務処理、申告等については、詳しくは税理士、税務署等専門窓口での相談をお勧めします。

幸せな人は「お金」と「働く」を知っている

発行元：(株) イースト・プレス 筆者：新井 和宏(あらい かずひろ) 発行：2017年7月24日

日本では子どもたちが「お金」のことにに関して学ぶ機会が少ないため、お金の振り回される人生を送ることがあります。本書は、そのような若い人たちと、その親の世代に向けて書かれたものです。

著者は、かつて金融会社に勤め大きな金額を扱ってきました。お金を相手に四半世紀も仕事をしてきた著者は、お金は必要だけど、「お金」があることと「幸せ」はイコールではないと言います。本書では「お金とはなんなのか」「なぜ働くのか」「幸せってなんだろう」を考え、「自分らしい幸せの見つけ方」を探ります。最終的に幸せかどうかを決めるのは自分自身です。お金や働き方に振り回されずに自分らしいものさしを持つことが、幸せへの道であると言っています。巻末付録には若い人に触れて欲しい本、人、場所などが具体的に挙げられているので、興味があれば実際に行動してみると良いかもしれません。



人生の目的が幸せであるとすれば、お金は目的ではなく手段です。自分らしい幸せを見つけるために、「社会」と「お金」と「働く」を知る旅に出掛けてみませんか。

募集とご案内

イベント情報

平成29年度 情報コーナーミニセミナー

笑顔がふえる両立のヒント ～働く、育てる、暮らす。暮らしの工夫編～

仕事に家事に子育てに…と毎日大忙しのあなた。そんな中、みなさんが日頃それぞれ実践している暮らしの「工夫」についてみんなで情報交換し、毎日を「もっと笑顔に」自分らしく過ごせるための“両立のヒント”を見つけませんか？

日時 2018年1月27日（土）13時30分～15時00分
（13時より受付開始）

場所 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」1階
情報コーナーレクチャースペース

定員 10名程度 **料金** 入場無料 / 参加・体験 / 託児あり

申込み 電話・郵送・FAX・E-mail・ホームページ・窓口で受付

主催・問合せ・申込み先

三重県男女共同参画センター
フレンテみえ

電話:059-233-1130

FAX:059-233-1135

☎: frente@center-mie.or.jp

ボランティア情報

三重県立みえこどもの城 ボランティア

みえこどもの城では現在約50名のボランティアさんが活動しています。それぞれ得意なことや好きなことを活かして、こどもの城スタッフと共に、子どもたちの育成にたずさわっています。

【活動時間】 1日：9時～17時 半日：午前、または午後の4時間程度

※ボランティア保険加入費は当館が負担いたします。

三重県立みえこどもの城ボランティア担当

〒515-0054 三重県松阪市立野町1291 中部台運動公園内 三重県立みえこどもの城

TEL：0598-23-7735 FAX：0598-23-7792

E-mail：bora@mie-cc.or.jp HP：http://www.mie-cc.or.jp/files/volunteer.pdf

日本語指導ボランティア

津市教育委員会では、日本語がまだわからなくて困っている外国につながる子ども達を対象に初期日本語教室「きずな」を開催しています。ご協力いただける日本語指導ボランティアを募集します。

【活動時間】 平日の月曜日～金曜日 8時50分～11時15分

【場 所】 初期日本語教室「きずな」（津センターパレス2F 津市大門7-15）

津市教育委員会事務局人権教育課

TEL：059-229-3249 FAX：059-229-3017

E-mail：L3066@city.tsu.lg.jp 担当：浦田・森田・増地

拡大写本 ボランティアスタッフ

「拡大写本 みえの会」では、弱視の子どもたちに拡大教科書等を作成し、提供するボランティア活動を行っています。現在10名で活動していますが、メンバーが不足しています。ぜひ、一緒に活動しませんか？

パソコン（文書作成など）を使える方、ご協力お願いします。拡大教科書とは、弱視の子どもたちが読めるように、一人一人の視力に合わせて文字や図表を拡大した、オーダーメイドの教科書です。デジタルデータの提供を文部科学省に申請して、一太郎・ワードなどを使って編集します。

【活動日時】 第1・第3木曜日（繁忙期は毎週） 10：00～12：00 【場 所】 津センターパレス3階

拡大写本 みえの会

代表 伊藤 駿司 TEL：059-228-3393 E-mail: kakudaimie@gmail.com

みえNPO基金（仮称）勉強会の報告と告知

NPO基金勉強会とは2019年を目標にNPO等の市民活動団体に対し資金的支援を中心とした多角的な支援を行う「みえNPO基金（仮称）」の設立をするための全5回の勉強会です。参加費は無料ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください！

2017年10月2日（月）に第1回勉強会を行い、あいちコミュニティ財団 代表理事 木村 真樹さんを講師にお招きして、これからの社会インフラとNPOについて考え、広く学生や社会人等にNPOや社会貢献活動に参加してもらうための仕組みなどを学びました。

第2回勉強会は2017年11月6日（月）に行い、京都地域創造基金理事長 深尾 昌峰さんを講師にお招きして、行政とNPOの互助と協働、寄付をより身近に感じてもらう為の工夫などのお話をいただきました。



【第4回勉強会 告知】

日時：2018年1月23日（火） 19時～21時

場所：みえ県民交流センター（アスト津3F） ミーティングルームA&B

講師：公益財団法人佐賀未来創造基金理事長 山田 健一郎さん

内容：（公財）佐賀未来創造基金の成り立ちや運営・取り組み、地域への効果や今後の課題などをお聞きします。

図書コーナー新規リニューアルしました

9月19日に図書コーナーをリニューアルOPENしました。貸出期間は2週間で、どなたでもご利用になれます。読書スペースもありますのでお気軽にお立ち寄りください。



はじめてみようNPO/NPO法人設立準備講座、参加者募集中

NPOについての基礎知識を得たい方、NPO法人を設立したいと考えている方にオススメの講座です。NPOとは何か？の入門から。法人化のメリットやデメリット。設立に必要な書類や手続きについて学べます。

日時：2018年1月24日（水） 13時30分～16時00分

場所：みえ県民交流センター（アスト津3F） ミーティングルームA&B

①13時45分～14時45分【NPO入門講座・講師】津市NPOサポートセンター 理事長 川北 輝さん

②15時00分～16時00分【NPO法人設立講座】三重県 ダイバーシティ社会推進課NPO班 職員

参加費：①・②各500円 ①・②両方参加の場合500円です。

【全ての問い合わせ先・申し込み先】

〒514-0009 津市羽所町700 番地アスト津3 階

TEL：059-222-5995 FAX：059-222-5971

E-mail:center@mienpo.net URL：http://www.mienpo.net/center/

ソリマ子のNPO法人様専用 会計ソフト！

会計王 18 NPO

最新NPO会計基準に対応！改正があった場合も迅速対応！

活動計算書・財産目録・財務諸表の作成もかんたん作成！

電話サポート・製品Q&Aなどお困りの方へサポート体制をご用意！

みえ市民活動ボランティアセンターでご購入できます！

ご購入に関するお問い合わせはこちらまで：TEL 059-222-5995

みえぎんNPOローン

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

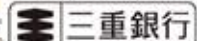
対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに” “みなさまとともに”

詳しくはTEL:059-354-7130（審査部まで）

URL: http://www.miebank.co.jp



三重県の新名物

伊勢おやき本舗

年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店

イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。

四日市市真話栄町3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp



助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

三菱UFJ国際財団 2018年度公募助成金

- 1月17日(水) 消印有効
- 国際交流の推進を通じて、国際的視野を備えた人材を養成し、アジア諸国などの世界各国と総理解促進に取り組む一般団体、学生団体
- 一般団体の上限100万円・学生団体の上限 50万円

洲崎福祉財団 障害児者に対する自立支援活動への助成

- 1月31日(水) 消印有効
- 障害児者の自立と福祉向上を目的とした各種活動、施設の設定・改善等の事業に取り組むNPO法人
- 1団体の上限300万円(総額1,000万円を予定)

明治安田クオリティオブライフ文化財団 平成30年度地域の伝統文化分野助成

- 1月31日(水) 当日消印有効
- 地域の民俗芸能、民俗技術の継承や後継者育成のための諸活動に取り組む団体、個人
- 1件の上限40万円～70万円

CO・OP共済 2018年度地域ささえあい助成

- 1月8日(月・祝)～1月31日(水) 当日消印有効
- 豊かな社会づくりをめざし、地域の暮らしを向上させる活動に取り組むNPO団体等
- 1件の上限100万円(総額2,500万円)

コンサベーション・アライアンス・ジャパン アウトドア環境保護基金(後期)

- 2月15日(木) 必着
- アウトドアフィールドの保全や保護のための活動に取り組む団体
- 1件の上限10万円～50万円

杉浦記念財団 第7回杉浦地域医療振興助成(活動分野)

- 2月28日(水) 必着
- 「地域包括ケア」「健康寿命の延伸」を実現しようとする活動に取り組む団体、個人等
- 1件の上限50万円(総額500万円)

編集後記

三重県が出しているデータを見ると、2016年度の県内NPO法人の経常収益総額は、約137.6億円となっています。当時のNPO法人数で割ると、1団体あたり2,095万円の経常収益があったこととなります。県内の中小企業の収入から比べれば、とても小さな額だと思います。しかしながら、経常収益総額、1団体あたりの平均額ともに、毎年右肩上がりとなっています。この経常収益額の中で、どれだけが人件費として支払われ、どれだけかの雇用の生み出しているかはわかりませんが、NPO法ができた19年前と比べると、雇用を生み出しているNPOは増えているのではないのでしょうか。今後、地域課題はさらに複雑になると予想されます。その中でNPOに期待される役割は今以上に大きなものとなります。収益モデルをつくり、人を雇用し、持続的に課題の解決に取り組むNPOが増え、NPOへの就職が当たり前になると、地域はより豊かになるのではないかと思います。(川北)



特定非営利活動法人

(2017年8月10日～2017年12月9日認証分)

- ① 特定非営利活動法人 かけはし桑愛
- ② 桑名郡木曾岬町大字加路戸5番地
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、環境、災害、地域安全、人権、国際、男女、子ども、情報化社会、経済活動、職業能力、消費者、その他
- ④ 2017/8/21
- ⑤ 代表理事 平野 勲

- ① 特定非営利活動法人 メディカルサポートMIE
- ② 松阪市下町2588番地2
- ③ 保健、社会教育、学術、災害、地域安全、国際、子ども、科学技術、職業能力、その他
- ④ 2017/8/25
- ⑤ 理事長 米田 操

- ① 法人名② 主たる事務所の所在地
- ③ 活動分野④ 認証年月日⑤ 代表者

- ① 特定非営利活動法人 幸せポロリ
- ② 津市栗真町屋町1131番地1
- ③ 保健、まちづくり、観光の振興、地域安全
- ④ 2017/10/30
- ⑤ 理事長 山本 委史

- ① 特定非営利活動法人 TEAM創心
- ② 多気郡多気町相可台5番地10
- ③ 保健、社会教育、まちづくり、観光の振興、農山漁村・中山間地域、学術、環境、災害、地域安全、人権、国際、男女、子ども、情報化社会、科学技術、経済活動、職業能力、消費者、その他、地域防災活動、障がい者の自立と共生社会、多文化共生社会
- ④ 2017/11/6
- ⑤ 代表理事 小山 隆幸

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

READERはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市なやプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇学館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JAバンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀] 地域活性化局[南勢志摩、紀北、紀南])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/MieMu(三重県総合博物館)/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンテみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。



株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。